

米沢市職労青年部編 (その3)

「変化」に身を投じて成長を!

まずは予備調査

米沢市職労青年部に四月から新しい書記が加わります。チャレサポ挑戦の本格始動を前に、調査活動からスタートしました。

●自治研チャレンジ 今後の予定

米沢市職労青年部の自治研の取り組みについて、今後の予定をお知らせします。まず、先日の採用試験の結果をもって、無事に新しい書記が決まりました(パチパチ まばらな拍手)。

新しい書記が誰なのか、男性なのか女性なのかは四月までのお楽しみみたいです。早く新年度にならないかな。気になつて夜しか眠れない事務局長(独身)です。

さて、書記が誰であろうと、俺たちは

ど)「法に基づいている」と感じる。

○役所は、決裁などの手順が多い。

○色々な市民がいて、相手するのが大変。

○役所は職場の雰囲気が悪くて上司が優しい。民間は休憩以外話をしない。

○民間は接待もある。

やはり民間企業は利益追求のために、個人が必死になっているイメージ。役所はチームプレーなもの、手続きが面倒なイメージ。体育系と文化系くらい雰囲気が違うのでしょうか。新しい書記はテンプポ良く仕事を覚えてくれるのかなと想像しています。また、近隣大学生との交流も検討しています。何をするかもどうなるのかも不明ですが、何かしら変化が起きると思われまます。

これから、いよいよ新書記と米沢市職労青年部の喜劇編に突入します(予定)。過度な期待は慎んでください!

●読者の皆様へ

偉そうなことを書くつもりはないので

俺たちの自治研をするだけです。

女子には優しく、男子にはアタリを強く。それが俺たち米沢市職労青年部のモットー。

冗談はさておき、四月、新しい書記も引継ぎやあいさつ回りと忙しく、そもそも慣れない環境で仕事を始めるわけですから、とにかく和やかに迎えられる態勢づくりを今から青年部で用意しておきます。和やかに迎えて、いきなり労働運動の厳しさを叩き込んでやります(フハハハ)。

そして新しい書記が仕事にも環境にも

すが、そうなつてしまつたらごめんなきい。

とにかく、自治研は「自由」「フリーダム」です。「なんでもいいよ。まずやってみてよ」と言われ、「なんでもいいよ」というのが一番困るんだよ!と怒り狂っていました。が、なんだかんだで今こんな感じに自由になっています。

もしかしたら僕たちの取り組みは「自治研」の趣旨から外れているのかもしれない。でも気にしていません。「なんでもいいよ」って言った人が悪いんです。弁明しますが、僕たちはただ単に適当にふざけているわけではありません。「真面目に適当にふざけています!」

みなさんも、なんでもいいから取り組んでみませんか?



米沢市職労
青年部事務局長
高橋大樹

慣れ始めたころ、青年部主催の学習会などを開催して、少しずつ労働組合、労働運動のことを理解してもらえようようにしていきます。そのために、我々青年部も勉強の日々を過ごします。

米沢市職労青年部は、この自治研チャレンジを通じて、「変化」のなかに身を投じて成長していくことに果敢に挑みます。我々は飛んで火に入る夏の虫です。

●民間企業と役所との違い

さすがに何もしまいま、新しい書記に先輩風を吹かすわけにもいかないの、できる限り新しい書記に歩み寄ってみたくて活動していきたくと思っています。

そこで、民間企業と役所はどこなところが違うのか知りたくなりました。新書記と交流する前に、「予備調査」として民間経験のある仲間三名に民間企業と役所の違いを聞いてみました。

○民間企業に長く勤めたわけではないが、役所は(組織の雰囲気や、福利厚生な

「居場所づくり」から始めよう!

書記さんが交代するというのは、組合にとって大きな変化であると同時に、組合と組合員との関係性を考え直す千載一遇の機会です。今回、「できる限り新しい書記に歩み寄ってみたくて活動していきたく」とのコメントがあります。それは「組合が何かしてくれる」という従来の発想からは生まれていません。つまり自然に「自分たちが新書記さんや組合のために何かできないか」と考え始めている点が重要です。職場や地域でつながりが薄れている今こそ、「組合には自分の居場所がある」と感じてもらうことをめざすべきです。たとえばこの機会に他の青年部の皆さんも巻き込み、自分たちが居心地のいい組合事務所をめざし「模様替え」をしてみてもいい?そこに自分の居場所を見つけた組合員こそが、新しい組合活動、自治研の担い手となつてくれるでしょう。(自治研マイスター)